

RX シリーズ ファームウェアリリースノート

【Version 1.16.0】 2020.9.1

- ・ 初期パスワード変更を促す仕様を追加
- ・ RX260、CPA/CRG タイプ E に対応
 - ※搭載されている通信モジュール「KYM12」のファームウェアバージョンが 02.03.00 以降で対応となります。通信モジュールのバージョンは TELNET 設定機能説明書 Ver1.16.0 P180、「モバイル通信端末情報一覧を表示する」でご確認ください
- ・ TELNET コマンドに現在接続されている WAN の IP アドレスを知るコマンドを追加
- ・ SunDMS で使用する新ルート証明書の追加
- ・ PPTP 接続失敗で VPN ランプが消灯しなくなる時がある不具合の対策
- ・ Web 設定で PPTP の全てのログ取得で正しくファイルが取得できない不具合の対策
- ・ L2TP 接続失敗時に VPN LED が消灯しなくなる時がある不具合の対策
- ・ RX230 で「ソフトウェアの自動電源 OFF/ON 機能」の「回線接続中は電源 OFF/ON しない」を設定し、ダイヤルアップと常時接続のマルチ通信をしている場合、常時接続が接続中にダイヤルアップが切断すると電源 OFF/ON してしまう不具合の対策

【Version 1.15.0】 2020.1.28

- ・ ソフトウェア再起動機能にて時間分散設定を追加
- ・ PPPoE 接続にてサービス名設定を追加
- ・ icmp 応答無し設定で WAN ハートビートで応答が無くなる不具合の対策
- ・ WAN 自動取得で WAN 側からアクセスできなくなる場合のある不具合の対策
- ・ L2TP 未接続で VPN LED が消灯しない場合のある不具合の対策
- ・ RX210 で、おやすみモードから復帰時に SMS を受信しない時がある不具合の対策
- ・ L2TP の動作安定化
- ・ RX280 で、おやすみモードから復帰時に SMS を受信しない時がある不具合の対策
- ・ RX230 で搭載されている通信モジュールのセルフリセット時に通信モジュールが起動しなくなる場合のある問題を対策

【Version 1.14.0】 2019.4.5

- ・ VRRP 機能追加
- ・ SunDMS ステータスが出力されない場合のある問題を対策
- ・ L2TP の接続性の安定化
- ・ RX280 でネットワークモードが表示できるように修正
- ・ RX230 で搭載されている通信モジュールのセルフリセット時に通信モジュールが起動しなくなる場合のある問題を対策

【Version 1.13.0】 2019.1.11

- ・ 「SunDMS」 有償サービスの後位端末死活監視、電源制御に対応
- ・ ICMP 応答の有無を追加
- ・ 「DNS リレー」 設定が OFF の場合、SunDMS 機能における名前解決が失敗する問題を修正
- ・ WAN 接続をしている際、LAN-WAN 間で大量通信時の安定性を向上

【Version 1.12.0】 2018.8.21

- ・ デバイスマネジメントサービス「SunDMS」対応
- ・ WAN ハートビート設定において「タイムアウト回数」設定を追加
- ・ WAN ハートビート機能で異常時にモバイル通信端末をリセットできる機能を追加
- ・ L2TP 通信スループットの高速化
- ・ 有線回線を使用した時に、IPsec サービスが停止してしまう場合のある不具合を修正
- ・ IPsec の動作安定化
※ファームウェアアップデート後、「SunDMS」は、WEB 設定画面、TELNET 設定では OFF になっておりますが、機能としては動作しており、管理サーバへ自動的に接続します。必要に応じて、改めて機能の ON、OFF を設定ください。詳しくは取扱説明書をご参照ください。

【Version 1.10.0】 2017.10.31

- ・ 回線バックアップ機能の追加
- ・ 仮想サーバのインターフェイス設定に” 全て” を追加
- ・ IPsec のインターフェイス設定に"自動"を追加
- ・ Web 設定,TELNET 設定におけるデフォルトゲートウェイ記述をゲートウェイに修正
- ・ APN の最後に空白文字が入った時エラーとならないように対応
- ・ 仮想サーバでポート番号変換が伴う設定に加え、INPUT フィルタリングポート番号指定をした場合、仮想サーバに接続できない問題を修正
- ・ IPsec の動作安定化
- ・ 圏外でモバイルの周波数を取得時に不正な文字が出力されるのを対策
- ・ RX230 で SIM 未挿入時でもモバイル通信端末情報が取得できるよう修正

【Version 1.9.1】 2017.1.26

■お詫び

2017年1月16日にリリースしたファームウェア Version1.9.0 に不具合が見つかりましたので、新たに 1.9.1 をリリースいたします。1.9.0 から 1.9.1 への修正項目は※になります。

※WAN ハートビートが起動しなくなる場合のある問題を対策

- ・RX230 で常時接続機能を追加。ダイヤルアップ接続と同時に接続し通信ができる（マルチ通信）に対応
- ・NAT トラバーサル機能を追加
- ・WAN ポートの NAT 設定を、工場出荷時設定から「有効」にするよう変更
- ・アドレス解決機能で IP 通知するインターフェイスを指定する設定を追加
- ・DHCP 機能において大量の DISCOVER パケットを受信し続けると割り当てが行われなくなる場合の問題対策
- ・外部からの DNS 問い合わせパケットが「通過ログ」に出力されてしまう現象の対策、また NTP 問い合わせの受信パケットが「遮断ログ」に出力される場合のある現象の対策
- ・TELNET コマンドにおいて不正な「set mobile apn list」コマンドでエラー表示しない場合のある不具合を修正
- ・INPUT フィルタリングにおいて、プロトコル・ポート番号が正しく適用されない場合のある不具合を修正
- ・アドレス解決機能で一部メール送信できないサーバに対応（SMTP サーバ「qpsmtpd」）。また、メール送信先の設定で「ユーザ認証 SMTP over SSL」、「ユーザ認証 SMTP STARTTLS」の場合、複数アカウントにメール送信できない問題に対応
- ・L2TP 動作時にモバイル通信サービスが再起動する際、システムも再起動する場合がある問題を修正
- ・WAN ポートを LAN として使用する設定とした場合、LAN1-LAN2 間で大量通信した際に再起動される場合のある現象の対策

【Version 1.8.0】 2016.7.25

- ・ FORWARD フィルタリングの工場出荷時の設定から「受信」設定を削除
- ・ クリックジャッキングの脆弱性対策
- ・ CVE-2015-7547 脆弱性を対策
- ・ WAN ハートビートの監視先の指定で「WAN のゲートウェイ」の項目を削除
- ・ IPsec と PPTP 接続を同時利用できるように変更
- ・ おやすみモード移行時に RAS 着信すると 24 時間レジュームしなくなる場合のある不具合を修正
- ・ WAN の設定が「DHCP」の時、DHCP 再割り当ての際にアドレス解決機能が停止する場合のある不具合を修正
- ・ エリアメールの出力フォーマット仕様を変更 (RX130)

【Version 1.7.0】 2016.2.12

- ・ RX210 でおやすみモードを使用する場合、ダイヤルアップの自動接続設定を可能に対応
- ・ RX210 工場出荷時の APN 設定を無しに変更
- ・ 起動直後、PPP の確立に失敗することがある不具合を修正
- ・ PPP ネゴシエーション完了後直ちに切断された時に切断を認識できない場合がある不具合を修正
- ・ 仮想サーバでプロトコル all、INPUT フィルタリングで TCP,UDP を設定した場合、外部からのアクセスができない不具合を修正
- ・ IPsec 接続していると 24 時間毎に RX が再起動してしまう場合のある不具合を修正
- ・ L2TP が接続できなくなる場合のある不具合を修正
- ・ L2TP,PPTP のステータス表示の IP アドレス項目で、次の IP アドレスが混ざることがある不具合の修正
- ・ 緊急速報にブザー鳴動フラグ、警報種別の使用を追加に伴い、telnet、ブロードキャスト転送プロトコル仕様を変更 (RX130)